

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

松田町の防災対策を問う



質問者
中野 博 議員

今後、30年の間に87%の確立で起こるであろうと予想される東海地震！想定外の出来事であったということでも済まされることのないよう、松田町の更なる防災対策の見直しを早急に行うべきだと考えます。



今回の東日本大震災を教訓とし、松田町に合ったより実践的な計画をつくっていく。9月に行われる県との防災訓練では、災害を想定した総合



防災訓練（町屋自主防災組織）

的な訓練を実施し、住民の防災意識の普及啓発を図っていく。

具体的な対策の一例として、耐震貯水槽の設置・町内にある井戸水の利用・風水害対策（酒匂川や川音川の浸水）・情報伝達のための「戸別災害

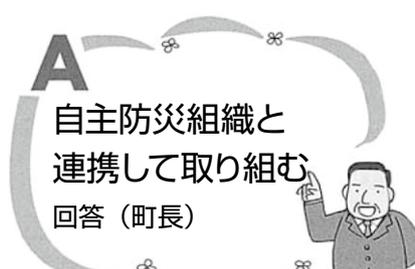
『さらめく松田』の生活環境の整備について



質問者
廣瀬 幸男 議員

無線機」の整備・防災施設の整備など町民の生命及び財産を守るため、更なる災害に強いまちづくりを推し進めていく。

特に、「同報無線機」については、松田山などに新設することを検討する。



自主防災組織と連携して取り組む回答（町長）

松田町第5次総合計画まちづくりアクションプログラム施策について

① 松田町に住んでいる単独世帯の高齢者や障害者の把握は、どこまでされているのか。

② 災害発生時の単独世帯の高齢者や障害者の安全確認と避難誘導など、どのような方針での支援を考えているのか。

以上のことをお伺いいたします。

単独世帯の高齢者や障害者の安全確認と避難誘導などは、地域の自主防災組織が主体となって取り組んでいく。

町では、民生委員が個

別の援助や見守りの対象を明細地図で整理した「個別援助票等を基礎とした災害福祉マップ」を活用していく。また、民生委員や自治会長の協力を得て「災害時要援護者名簿」を作成し、有効利用していく。

この「災害福祉マップ」は、町と民生委員が担当地域ごとに保管し、今年から足柄消防組合にも提供する。

現在、無料配付している「安心キット」を含め、自主防災組織には、これらのものを活用して安全確認を行っていく。



「持病」かかりつけ医療機関「緊急連絡先」などを、専用の容器に入れ冷蔵庫で保管。医療機関や避難所に持参することで、医師などから適切で迅速な処置が受けやすくなる。高齢者や障害者世帯に無料配付。

問合せ 庶務課
Tel 83・12221